

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第六次吉見町総合振興計画に基づくみんなで安心して暮らせるまち実現のための計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県比企郡吉見町

3 地域再生計画の区域

埼玉県比企郡吉見町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の総人口は2000年の22,246人まで上昇傾向にあったが、その後下降傾向となり、2021年には18,447人まで減少している。

年齢3区分別人口の推移をみると、生産年齢人口は総人口の流れと同じく、2005年の15,132人をピークに上昇傾向から下降傾向に転換し、年少人口も同様に1995年の4,198人をピークに下降傾向となっている。2021年にはそれぞれ、10,586人、1,544人まで減少している。一方、老年人口は上昇傾向にあり、2005年には3,871人と年少人口を上回り、2021年には6,317人と増加している。

自然動態についてみると、2001年までは出生数と死亡数がほぼ同数であったものの、その後死亡数が出生数を上回り、その差は徐々に拡大しており、2020年度は▲167人の自然減となっている。

社会動態についてみると、転入数は1996年をピークに増減を繰り返しながらも全体としては顕著な下降基調が続く一方、転出数は緩やかな増加傾向にある。2003年には転出数が転入数を上回り、以降その状態は変わらず、2020年度は▲131人の社会減となっている。

本町の人口の今後の推移に関して、第六次吉見町総合振興計画における将来人口推計では、令和2年（2020年）において18,693人であった本町の人口は、令和27年（2045年）には、10,404人まで減少するとともに、高齢化率も33.8%から、53.5%まで上昇することが見込まれる。

このまま人口減少、少子高齢化が続くと、農業・商業の衰退、町の活気の低下、空き家の増加、経済活動の減退や収入の減少、コミュニティの希薄化などの影響が懸念される。急速に進行する少子高齢化や人口減少への的確な対応と、生活、経済、地域コミュニティなどを維持し将来にわたり持続可能なまちづくりをいかに進めていくかが課題となっている。

これらの課題に対応するため、次の事項を本計画における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

基本目標 1 吉見で育ちたい・育てたい

基本目標 2 吉見で学びたい

基本目標 3 吉見で働きたい

基本目標 4 吉見で暮らしたい

基本目標 5 吉見を知りたい

基本目標 6 吉見の未来を引き継ぎたい

【数値目標】

【数値目標】 5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略の基本目標
ア	結婚相談支援による年間お見合い件数	10件	10件	基本目標 1
	不妊検査及び治療費助成年間利用件数	8件	10件	
	12歳時の永久歯のむし歯本数	0.62本／人	0.4本／人	
	保育所等の待機児童数	0人	0人	
	子育て支援センター年間利用者数	7,200人	6,800人	
イ	学校評価に関するアンケート目標値達成項目割合	80%	90%	基本目標 2
	中学1年生の公費負担による英検の合格率	80%	85%	
	吉見町民体育館年間利用者数	40,449人	45,000人	

	図書館等複合施設年間来館者数	—	48,000人	
ウ	週2回以上収入のある仕事をしている65歳以上の町民	25.4%	30%	基本目標 3
	農地中間管理事業推進地区数	4地区	10地区	
	町内小売業年間商品販売額	544億円	629億円	
	令和3年度以降の累計雇用創出数	—	3,000人	
エ	町内小売業の売場面積	7,854㎡	16,854㎡	基本目標 4
	デマンド型交通年間乗車人数	6,774人	12,000人	
	きちんと分別されたごみの割合	93%	95%	
	特定健診の受診率	42%	60%	
	65歳健康寿命・男性	17.47年	18.1年	
	65歳健康寿命・女性	20.39年	20.9年	
	障がい者生活サポート事業利用者率	17.6%	20%	
	地域や趣味などのグループ活動の企画・運営に参加してみたいと思う65歳以上の町民	30.6%	31%	
	防災メール登録世帯数	2,700世帯	4,000世帯	
オ	交通死亡事故年間発生件数	0件	0件	基本目標 5
	町ホームページ年間アクセス数	10万件	12万件	
	プレスリリース年間打ち出し件数	12件	16件	
	ふるさと納税年間寄附金額	1 億円	3 億円	
カ	町の情報発信に満足している町民	49.8%	60%	基本目標 6
	ボランティア体験プログラム年間参加者数	151人	200人	
	吉見百穴年間入場者数	59,997人	70,000人	
	審議会などの女性委員割合	24.6%	40%	
	マイナンバーカード	2,922枚	12,000枚	

	累計交付枚数			
--	--------	--	--	--

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2 のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

吉見町みんなで安心して暮らせるまち創生事業

ア 「吉見で育ちたい・育てたい」を実現する事業

イ 「吉見で学びたい」を実現する事業

ウ 「吉見で働きたい」を実現する事業

エ 「吉見で暮らしたい」を実現する事業

オ 「吉見を知りたい」を実現する事業

カ 「吉見の未来を引き継ぎたい」を実現する事業

② 事業の内容

ア 「吉見で育ちたい・育てたい」を実現する事業

まちの将来を担う大切な子どもたちが、楽しみながら育っていくまちづくり事業

【具体的な取組】

- ・結婚・妊娠・出産のライフステージを支援
- ・母子保健・医療制度の充実
- ・子育て世代の支援 等

イ 「吉見で学びたい」を実現する事業

子どもたちが夢の実現に向けて充実した学校生活を送り、誰もが、いつでも、どこでも、様々なことを学び、活躍することができるまちづくり事業

【具体的な取組】

- ・学校教育の充実
- ・地域を学び、地域で学ぶ（見学、体験活動）
- ・学びやスポーツの「場」の整備
- ・健康づくり・生きがいづくり
- ・スキルアップ・学び直し 等

ウ 「吉見で働きたい」を実現する事業

一人ひとりの生活や個性に合った多様な働き方が出来、地域資源を活かした産業を創出するまちづくり事業

【具体的な取組】

- ・多様な就労と雇用のための企業誘地
- ・農業
- ・商業、観光との連携事業の構築
- ・商業の拠点づくり
- ・道の駅の機能拡充 等

エ 「吉見で暮らしたい」を実現する事業

安全安心な環境で心身ともに健康で助け合いながら自分らしい生活を続けられるまちづくり事業

【具体的な取組】

- ・防災・防犯体制の整備強化
- ・地域での支え合い、コミュニティを育む集いの場づくり
- ・住環境の整備や景観の保全により暮らしやすい環境整備 等

オ 「吉見を知りたい」を実現する事業

町の魅力が多くの人に伝わり、関心を持つ人、応援してくれる人が増えていくまちづくり事業

【具体的な取組】

- ・情報通信ツールの利活用
- ・地域資源と町のPR

- ・ふるさと納税の活用
- ・情報の活用とセキュリティの確保 等

カ 「吉見の未来を引き継ぎたい」を実現する事業

みんながまちの将来を「自分ごと」と捉え、自然や文化を大切に守り、みんなで参加し、みんなで取り組む未来へのまちづくり事業

【具体的な取組】

- ・世代や業種を超えた人の交流
- ・歴史や文化の継承
- ・人権と平和の尊重、多様性の共存
- ・時代に即した行財政運営
- ・20年先への種まき事業 等

※ なお、詳細は第六次吉見町総合振興計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400,000千円（2021年度～2025年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度の決算を踏まえて1月頃に外部有識者会議による効果検証を行い、検証後速やかに町ホームページ等で公表する。合わせて、次年度以降の方向性を確認する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

5－3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで